

パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報

2015年7月1日 142号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護



堤防建設工事は、ここゲストハウス前から始まった。従来よりも2m高くなって、水位上昇による浸水を防ぐ。(5月31日撮影)

レダ基地の堤防建設工事進む！

五月九日、レダ基地の堤防工事が始まりました。天候が比較的稳定したタイミングで、多くの機械が搬入されました。ブルドーザー一台、土を削るスクレーパーが二台ずつ付いたトラクターが四台、移動式の家が二軒、燃料タンクローリー、そして責任者の車とから成る一個師団が陸路、列をなしてレダに入ってきました。料理人を含めて総計14人の編成。メノナイトのWensley Wiebeという人の会社です。ロマ・プラタの人ですが、ここから百キロ離れたトロパンパに出張所を構えたので、この辺の牧場ではほとんどの工事をこの会社で依頼しています。ここチャコは開発の作業が無数にあります。

数千ヘクタールから数万ヘクタールの開墾、道路造り、タハマルという家畜の水場作りなど、仕事の要請は膨大です。そして土木工事は天気次第なのです。雨が降ると作業が大変に難しくなるので、本格的な雨季(十月から翌年の三月位まで)には基本的にできません。彼らは残りの期間に一気に仕事をしまわなければなりません。そして依頼されている仕事は山ほどあるので彼らははてんで忙しい、どこからも引つ張りだになります。私たちもこの堤防建設を昨年から依頼したものの、中々具体的な段取りがつきませんでした。そして今年になってようやく業者が予定に入れてくれました。五月八日から天候に恵まれ、工事は比較的順調に進みました。作業は24時間体制ですが雨が降ると中断します。特に五月二六日ぐらいから雨が降り続いたときは、仕事が完全にストップ。業者も一旦引き上げ、天候の回復を待つて、戻って来ました。

堤防工事の順序としては、まずゲストハウスの前から始まりました。二〇一一年、一四年と川の水位が上がった時、浸水した場所です。それを守るべく、この工事で高さ2mの土手を造りました。土手には傾斜があり、1m上がるごとに両サイド1mずつ幅が狭くなります。したがって、高さ2mの土手の堤頂に6mの道路幅を確保するためには土台の幅が10m必要なのです。必要な土はできるだけ川側から取りました。取れない分は牧童のマリオの家の付近から持ってきました。これで少々の水位上昇には耐えられます。

そして工事は本流側に移りました。そこは上山氏が必死に防衛した土手があります。それをさらに1mかさ上げするというものです。そのためには土台を川側に広げる作業が必要でした。(二面に続く)



堤頂は二車線の幅があり、一般車両のすれ違いができる。

堤防建設

した。土を取って低くなった箇所を養殖池にできるので一石二鳥です。その先で飛行場を横切り、さらに境界線沿いに進んで、第二農場を囲み、マリオの家の西面を通してメイン道路に接続します。

また、水位が上昇した時にもレダ基地から通じる道路が切断されず、常時通行可能な道路にするため、ラタイ牧場内の道路までかさ上げしたいのですが、これは予算との相談になります。工事で特に苦心するのは、土が湿っている時の作業です。これは非常に効率が悪いのです。土は採取する場所によって、その性質が違います。また何といっても雨との闘いが厳しいものです。雨が降れば作業は中断。また2mの土手の

（一面より続く）堤防は、本流沿いにマリーナ（海軍）のオフィスの前を通って隣の牧場との境界線まで南に延伸しました。そこからその境界線に沿うように西に進み、できた土手が養殖池の囲いを兼ねるようになります。

境界線に沿うように西に進み、できた土手が養殖池の囲いを兼ねるようになります。



高さ2mに積み上げた堤防（旧館付近）

上での作業なので、細心の注意が必要です。特に夜間は暗くなるので大変でした。この会社はすでに主要な部分の工事を成し、六月二十日にはすべて終了して引き上げる予定です。飛行機の離発着のために空けてある滑走路部分ほか、残った部分は、私たちの技術と機材でも十分造成が可能です。

堤防建設のためにお寄せくださった、皆様からのご支援に感謝致します。（六月十七日、佐野記）

政府官僚とエスペランサ村酋長がレダ基地のプロジェクトを視察

六月六日、パラグアイの社会福祉庁の漁業従事者担当局長をはじめ、政府関係者三名がレダ基地を訪問し、多面にわたる私たちのプロジェクト



ソーセージ等試作室で中田所長の説明を受ける



タロイモ畑も興味深く視察する



桜井君の14匹目のドラドは、75cm、4.8Kg。この後に、80cm、5.6Kgの大物を釣り上げ、さらに4月30日まで、合わせて40匹を釣った。豚ランドまで往復10kmを毎日歩いて通った、つわものである。

たことが何より感謝です。特に四〇匹のドラド釣りの達成感は、とても貴重です。ここでの体験を基に、自分の生涯を捧げられる場所を見つけないです。ぜひ、もう一度レダに来たいです。



桜井聖一君がレダ基地を出發

二月末よりレダ基地で浚刺と活動してきた桜井聖一君（26・写真上）が、五月二十二日、日本へ帰国の途に就きました。【桜井君の感想】「レダのすばらしい大自然の中で過ごせ

クトを視察しました。チャコ地方の村々を巡回視察し、住民の生活向上のため政府として可能な施策を立てるべく実地調査をしていたところ、先住民村エスペランサのバルボサ酋長からレダ基地に行くよう強く勧められて来たものです。一行は、パクーの孵化場、養殖池、小橋さんのソーセージ試作室などを訪れ、レダ基地の中田所長の説明を熱心に聞きました。そして、レダ基地のすべてのプログラムが、地域の復興のためにあることに、感銘を受けていました。その後、基地スタッフとともに昼食を取り、帰って行きました。

小橋さんの挑戦、プロの創造力を発揮！

ソーセージ造りのプロ、小橋さんは、レダブランドの自信作、ピラニアソーセージの商品サンプルを完成させました。いすゞトラックに冷凍庫をつけて、アスンシオンにパクーと共に持って行き、販路を開きたいと意欲満々です。

小橋さんはまた、毎日タロイモを使った美味しい料理作りにも挑戦しています。タロイモは蒸かすと、もちもちした粘りが出て、餅料理を作れます。現地の従業員たちも好んで食べます。



商品開発をする小橋さん



完成した商品サンプル



タロあん入りタロもち



ピラニアソーセージ

日系ジャーナル紙がレダの活動を紹介



五月十五日付けの日系ジャーナル紙は、第一面トップの記事で、「不毛の僻地を希望の地に」という見出しを付け、第三回放流式の内容を中心に、レダ基地の活動を見事に要約して紹介してくれました。（ここまで伊達記）

滝川哲盤君がレダ基地に出発

六月十六日、滝川哲盤（たきかわのりやす）君が、10時20分発のKLMオランダ航空で、成



田空港よりアムステルダム経由アスンシオンに向けて出発しました。滝川君は、山口の水産大学の四年生で、魚の養殖に関心を持って、大学も選んだそうです。レダでも、水産関係の仕事で役に立てればと、大変に意欲的です。帰国は十一月十六日を予定し、長期ボランティアを目指しています。空港には、飯野絢子夫人も朝八時から、見送りに来ておられ、さすがに滝川君の姿勢に感動していました。皆様の篤き応援をお願いいたします。（戸石記）

連載インタビュー（第8回）

Amo Leda!



マルセリーノ・ゴンサレス
Marcelino Gonzales

9歳の女の子、8歳の男の子、2歳の男の子がいる。レダではスイミングプールのメンテナンスを長年やっている。

Q. 何歳ですか？

A. おそらく39歳だと思います。私が生まれたころは正式な届出制度がなかったので正確なものは分かりません。

Q. レダに働きに来てどのぐらいになりますか？

A. 10年以上になると思います。最初は、下水槽を掘ったり、柵を造ったりしました。

Q. プールの掃除をするようになってどのくらい経ちますか？

A. もう5年は超えました。Q. そんなに長く同じ仕事なのですか！？

A. この仕事はとても根気のいる仕事です。水に浮

かぶ落ち葉や虫やごみをまずすくいます。そしてプールの床にある汚れを専用のバキュームで丁寧に一筋ずつ吸い取っていかねばなりません。このプールは屋根がないので一日でもそれを欠かすとすぐに汚れてしまうのです。朝来てみると表面が虫でいっぱいのあるのです。プールに対する愛着とこだわり、そして根気がないと難しいと思います。また一人なので、適当に手を抜くことも可能なのです。それ故、誰でもいいというわけではありません。

Q. レダで働いて印象に残ることは？

A. やはりここに大統領がやってきたことです。それまではテレビでしか見たことはなかったですから。

Q. レダで働くことに満足していますか？

A. ここでは酒を飲まない、盗みをしないなどの規則がありますが、その故に他の職場とは違って、何の争いもなく平和に生活を送ることができることにとても満足しています。また皆が自分を信頼してくれているのでそれを裏切らないよう、その信頼に応えられるように精一杯努力していきたいと思っています。

第8回パンタナール一日特別研修会ご案内

意欲あふれる講師陣。最新データと画像を活用した構成で、皆様のご参加に備えています。

日時：二〇一五年八月一日（土）

十時三十分～十七時（十時より受付）

会場：大山街道ふるさと館二階（川崎市高津区溝口三十二三） JR武蔵溝ノ口駅、および東急田園都市線溝の口駅から徒歩七分

参加費：二〇〇〇円（昼食を含む）当日受付にてお支払いください。申込〆切：七月二十九日

プログラム（予定）

★提唱者の思想と私たちレダ開拓史

南北米福地開発協会 理事 飯野貞夫

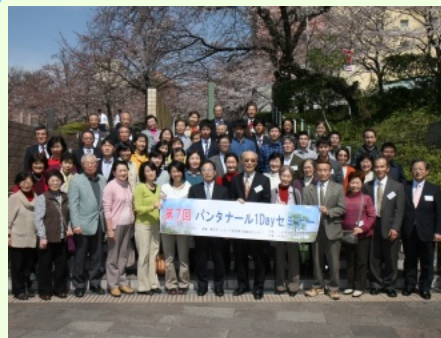
★ここまで来た！地球環境問題

地球の緑を守る会 代表理事 高津啓洋

★パラグアイ・レダにおける理想郷建設

南北米福地開発協会 理事 柴沼邦彦

参加申込は、①氏名・フリガナ②年齢③性別住所⑤電話番号⑥メール⑦紹介者を明記の上、FAX：〇四四八二九二八二〇、または、メール：office@asd-nsa.comへお願いします。



前回の一日研修会参加者たち



講師と親しく懇談する時間



植樹のための腐葉土を集める（第14回奉仕隊）



植樹祭で、地元の学生たちと交流（第14回奉仕隊）

第十五回国際協力青年奉仕隊派遣のため、ご支援をお願い致します！

未来の社会を背負って立つ青年リーダーシップの育成を目指し、国際協力青年ボランティアを派遣いたします。そのため、皆様が使い残された、はがき、年賀はがき、書き損じはがき、未使用の切手などを集めています。送り先は下記の事務局あて。また支援金も感謝してお受けいたします。

郵便口座

記号 一〇二八〇

番号 六一三四九七五一

南北米福地開発協会

お便り募集

読者の皆様からのお便りを歓迎します。ご感想、ご意見、ボランティア体験記、自然環境に関する気付きなど、メールやFAXで、下記の事務局宛てお寄せください。（一部をお便りコーナーに掲載させていただきます。）

一般社団法人 南北米福地開発協会事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15

岩崎ビル4F

電話：044-829-2821

FAX：044-829-2820

ゆうちょ銀行（旧一般会員会費納入）

記号10280 番号61349751

一般社団法人 南北米福地開発協会

メールアドレスが変わりました！

(新) E-メール：office@asd-nsa.com

(新) ホームページ：http://asd-nsa.com

会員種別

♠ 会員一口1000円／月 ※口数は申込者が申告

♠ 特別会員一口1万円／月 ※口数は申込者が申告

♠ 法人会員一口1万円／月 ※口数は申込者が申告

会費は、毎月の引き落とし方式です。

会費振替用口座 ゆうちょ銀行 00290-5-113072

加入者名：シャ) 南北米福地開発協会

入会申し込みと同時に手続きをお願い申し上げます。それが確認でき次第、会員番号を確定し、ご案内いたします。

♥ 入会申込書は、左記の事務局にお申し込みください。

また、ホームページからもダウンロードできます。

PDF形式 <http://asd-nsa.com/nyuukai.pdf>

Word形式 <http://asd-nsa.com/nyuukai.docx>